

No.650 (改題610号)
2024年
8月28日(水)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三成工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

平和への想いさらに強く
ピースフェスタ明石が20回目

講演師・神田香織が講演

明石地労協人権平和センターなどが中心になった実行委員会が主催し、戦後60年の2005年から始まった「ピースフェスタ明石」は今年、20回目という節目を迎え、8月10日から18日の期間、アスパシア明石北館・ウィズあかしを会場に開かれた。平和・いのち・子どもをメインテーマとして、期間中はさまざまな展示、戦争体験談や講演などの多彩な催しを通じて平和の大切さ、命の尊さ、未来への希望をわかりやすくアピールしようとしたイベントだ。今年のメイン行事は18日の「神田香織講演会」だった。



メイン行事には会場満席の236人が参加し神田香織さんの講演の「抜き読み」がたくさん織りこまれたお話に聞き入った=8月18日、明石市・子午線ホール

子午線ホールで開かれた「神田香織講演会」には猛暑をおして参加した236人で会場は満席となった。登壇した神田香織さんの講演テーマは、「うつつたえは、「明るく、楽しく、しつこく」」。自らの活動のモットーである。講演はまず、講演について解説から始まった。そして、自己紹介を兼ねて講演を始めた経緯、さらに「はだしのゲン」や「チェルノブイリの祈り」

などに代表される社会派講演と呼ばれる講演をなぜ語るようになったのかについて語った。「二ツ目だった時のサイパン旅行でパンザイクリフのことを知り、衝撃を受けた。戦争の現実だった。そして、「はだしのゲン」に行きつき、作者の中沢啓治さんと出会う。講演にすることを了解され、励ましも受けた。もし被爆者から否定的な声が出たら1回きりで止める覚悟で始めたという。だが、被爆者たちはぜひ伝え続けたいと激励した。貴かれているのは、何の罪もないのに理不尽で不条理な目に遭っている人びとの立場から講演をつくり、語ってきたことだ。悔しさや悲しさから力も与えてもらうのだと語った。今の政治への怒りも表し、かつてなくキ

ナ臭い世の中になっていくことへの憂いと数々の批判の言葉も。こうした話の流れなかで、「チェルノブイリの祈り」や「福島島の祈り」の講演を抜き読みで演じ、最後には講演「はだしのゲン」をダイジェストながらも力強く語り語り語り講演を締めくくった。ピースフェスタでは期間中、さまざまな展示が行われた。「ウォールギャラリー展」として中沢啓

治の『はだしのゲン』の複製原画展のほか、「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真のパネル」なども展示され、「今と昔、平和を考えるギャラリー展」では、戦時下の暮らしの品々をはじめ、「明石空襲」、「憲法」、「沖繩」など数多くの展示物が並び、「原爆」、「ウクライナと



中沢啓治さんの『はだしのゲン』の原画展(複製)=8月、明石市・アスパシア明石

今年の夏も「原爆と人間」
写真・絵画展」 神戸市原爆被害者の会

神戸市原爆被害者の会(立川重則会長)が主催する「原爆と人間」写真・絵画展」が8月8日~13日、今年もJR神戸駅地下にあるデュオギャラリーで開かれた。主な展示内容は、広島平和記念資料館の企画で、広島市立基町高校の生徒と被爆体験証言者が共同制作する「原爆の絵」の数ある作品のうちの一部(複製画)。被爆者が高齢化する中、2007年から被爆体験の継承の一つの形として取り組まれており、生徒と証言者は約1年かけて何度も打ち合わせを重ねながら絵を完成させていくという。ギャラリーに展示された十数点の絵にはどれも、当時の惨状を詳細に迫力を持って訴える力があり、絵とともに紹介された制作後の両者の感想文は証

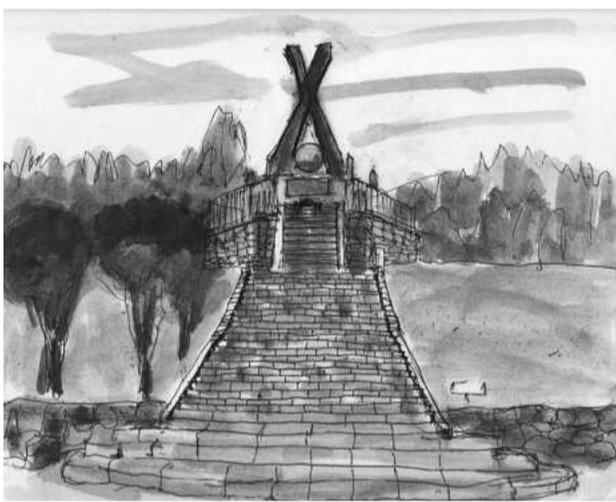
ひょうご(153)
描き、歩き
元長崎市長・本島等氏の長崎原爆忌「平和宣言」——人類は滅亡の道を歩もうとしないのか、時は迫っている。いまや人々は国境を越え、宗教、信条を越えて必死の努力を払っていくべきときである——を銘板に記す平和祈念塔が南あわじ市の論鶴羽(ゆるは)神社の山ぼうしの広場に建っている。



平和祈念塔

(南あわじ市)

兵庫県の「教育の木」になっている。この神社を上げていくと淡路島の最高峰「論鶴羽山(608m)」に達する。「枕草子」に「峰はゆるはの峰 あみだの峰 いや高の峰」と書かれた名山で、「淡国通記」にも「南海に臨みて最高の峰あり、この山を論鶴羽山という。(イザナギ、イザナミ)この神はじめ鶴の翼に乗り、南紀に飛び往来神遊したまう」と記される。小高い台地の頂上からは海を隔てて紀州の山々、眼下に沼島が望まれる。南の海沿いの山懐は灘黒岩水仙郷。西方の大見山の山頂には丹下健三氏設計の戦没学徒記念若人の広場もある。(嶋谷)



言者が見た情景をさらに身近に感じさせる。展示には、たまたま通りかかった買い物途中などの人々も立ち寄り、展示をじっくり見ていく姿が数多く見られた。また、同展では他にも、兵庫県出身の漫画家で切り絵作家の故・寺尾知文さんが、1945年8月に一兵士として赴任し



被爆体験証言者と美術部の高校生が証言をもとに1年をかけて共同制作した絵の数々が展示された=8月8日、神戸市中央区・デュオギャラリー

水脈
8月8日、日向灘を震源とした地震が起きた。震度6弱だったが、気象庁は「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を地震後1週間にわたって出した。この間、各地で地震が起き、南海トラフと聞いただけで恐怖を覚えた▼南海トラフ防災対策基本計画での耐震化は迫っている。政府の予測は死者数32万余、倒壊・消失建物2,500万棟、経済損失215兆円、東日本大震災の10倍とする。「国土強靱化基本計画」なるものが被災に結びつくのか▼阪神大震災から30年近い。「忘れた頃に」とも言われる災害。大寒の時期の経験は真夏の今とは違いますが、店頭では飲料水が売り切れ、食品備蓄が再確認されている▼元旦に起きた能登地震の被災地は復旧が遅れに遅れている。真冬に被災して、今は猛暑の避難所生活。地震で助けた命が災害関連死へと悲しい報道が続く。直後に起きた台湾での地震対策の速さに日本政府は学ぶべきだ▼地震だけではない。線状降水帯による水害も相次いでいる。降雨予測ができて川は氾濫し、住宅・農地の被害は繰り返される▼一刻も早く自衛隊を「災害救助隊」に改編し、災害列島対策を進めよう。軍拡予算は災害対策に回し、住民の命を守る備えをつくろう。

私の主張

金孝順さんに励まされ、各地、各国の性被害者たちは、やっと「責められるべきは私ではない」と、戦争犯罪の告発者と

「慰安婦」問題について、迷惑をかける親族もいない。責任逃れをする日本が許せない」と、記者の露骨な質問にもつらい気持ちをこらえて毅然と答えていた姿が忘れられない。あれからもう33年だ。

野談話は死んだ。期限を9月に控え、ドイツ・ベルリン市ミッテ区に建立されている「平和の少女像」が

必要だった。「沖繩米兵も風俗店を活用し

1991年8月14日は、「慰安婦」問題が連

33年経って日本政府の謝罪は得られたか。

撤去されようとしている。ドイツは今、極右

性に関する事件では、女性が被害者であることが多い(ジャーナリズム事件は男性だった)が、そこには(加害者である)男性と

「慰安婦」問題が連

「慰安婦」問題が連

「慰安婦」問題が連

「慰安婦」問題が連

王子公園再整備問題

今後の活動方針を決定

9・1市民集会、署名提出、行政訴訟提訴

「市民ミーティング」実行委が全体会議



「王子プールを残して」と取り組んだ署名は毎週街頭に立ち約6千筆を集めた＝8月、JR六甲道駅前

市民の声を聞き入れることなく一方的に進む神戸市の王子公園再整備計画に抗議して運動に取り組

ら、6千筆の署名を集約。9月初めに神戸市に提出する。

また、「防災の日」の9月1日には動物園ホールで市民集会を開く。

活動資金づくりに「ザーム」も実施＝8月11日、神戸市灘区

8月14日を忘れない 日本軍「慰安婦」メモリアルデー

せめて忘れられずにいるか。残念ながらすべて「否」と言わざるを得ない。安倍政権後、軍の関与は強制的なものではなかったというウソがまかり通り、今では「謝罪は済んだ、問題は存在しない」というのが日本政府の公式見解のようになっていく。今年、「慰安婦」を連れ回した事実はないと記述する教科書(令和出版「国史」)が検定に合格した。河野談話は死んだ。

性に関する事件では、女性が被害者であることが多い(ジャーナリズム事件は男性だった)が、そこには(加害者である)男性と

性に関する事件では、女性が被害者であることが多い(ジャーナリズム事件は男性だった)が、そこには(加害者である)男性と

性に関する事件では、女性が被害者であることが多い(ジャーナリズム事件は男性だった)が、そこには(加害者である)男性と

【おこたわり】都合により「改憲の動きを…」はお休みします。

この地を拓き築いた汗、涙

東播磨地区 社会労働運動史 (戦前編)

新社会党東播磨会議

2024年7月27日

『この地を拓き築いた汗、涙』編集委員長 長谷川公英

※本誌のご注文は新社会党兵庫本部まで。

【編集部】

王子公園といのち・くらしを守る市民集会

- 9月1日(日)10時 (参加費無料)
- 動物園ホール
- 署名行動の報告、行政訴訟の取り組みと今後の活動計画、講演など(主催「王子公園・市民ミーティング」実行委員会)

東播磨地区の闘いの歴史に学ぶ 『この地を拓き築いた汗、涙』

新社会党東播磨会議が刊行

新社会党東播磨会議(議長・村井正信)はこのほど東播磨の社会労働運動の歴史(戦前編)を紹介する『この地を拓き築いた汗、涙』を刊行した。以下は、長谷川公英編集委員長の刊行の辞。

【編集部】

この度、『この地を拓き築いた汗、涙』——東播磨地区社会労働運動史(戦前編)——を刊行しました。2005年の編集委員会発足以来19年を要してやっとこの目を見ることができました。この間の経過については「発刊の辞」に詳しく載っています。私は編集委員長の任に就いたものの、この事業の積極的な意義を見出せずにいました。しかし、改めて読んでみて、一条の光明に遭遇しました。本誌6ページ

斎藤知事は辞職を2つの市民行動

- 斎藤知事やめろ 県庁包囲行動
 - 8月30日(金)午前9時
 - 兵庫県庁・3号館南集合
- 斎藤知事の辞職を求める緊急県民集会
 - 9月8日(日)14時～
 - 兵庫県民会館9Fけんみんホール
 - 参加費500円(予約不要)
 - 対談 佐高信×西谷文和

※市民デモHYOGOなど5者の共催

許すな! 祝園弾薬庫増設 長距離ミサイルの保管を予定

京都府精華町の陸上自衛隊祝園分屯地

今年7月3日、新社会
党大阪府本部、京都府本
部、兵庫県本部(4人が
参加)のメンバーら10数
人が、弾薬庫の増設計画
が持ち上がった陸上自衛
隊祝園(ほうその)分屯
地(京都府精華町、京田
辺市)周辺でフィールド
ワークを行った。基地の
周囲の道を一周して基地
の外部を見たのち、「京
都・祝園ミサイル弾薬庫
を考える住民ネットワー
ク」の方からレクチャー
も受けた。(上野)

◆ (上野)

奈良県に近い京都府精
華町に住宅地や役所と隣
接して陸上自衛隊・祝園

分屯地がある。ここに国
内最大級の規模の弾薬庫
がある(現在は11棟)。
面積4700坪で同町の約
6分の1を占める。広が
る小高い、こんもりした
森そのものが自衛隊基地
だ。外部のどこからも基
地内部の様子は全く見え
ないし、地元の人でも弾
薬庫があることを知らな
い人も少なくない。

この祝園弾薬庫を拡
張・増強する計画が、い
ま差し迫った問題となっ
ている。防衛省は202
4年度予算案に、祝園分
屯地(弾薬庫)内に大型
弾薬庫8棟の新設、弾薬
庫の整備、隊庁舎の建て



陸上自衛隊祝園分屯地の入り口への道。ここから先へは部外者は進めない(京都府精華町)

替えの設計・工事費など
に102億円を計上した。
計画では、陸上自衛隊
と海上自衛隊が共同使用
し、トマホークと長距離
ミサイル「12式長距離誘
導弾能力向上型」の保管
が予定されている。

こうした計画は「安保
3文書」にもとづくミサ
イル基地の強靱化の一環
であることは明白だが、
弾薬庫の新設は祝園だけ
でなく、全国14か所の基
地で予定されており、24
年度予算案では222億
円にのぼる。

長距離ミサイルの貯蔵
庫は、日本の敵基地攻撃
能力の行使があれば相手



大会には県内の他の地域ユニオンも駆けつけた(8月4日、姫路市)

開催を求めるアクション
などをしている。8
月25日には精華町で「夏
の爆発事故のリスクも
抱える。」

地元では住民説明会の
かた。

開催を求めるアクション
などをしている。8
月25日には精華町で「夏
の爆発事故のリスクも
抱える。」

地元では住民説明会の
かた。

組織拡大や財政確立へ

姫路ユニオンが定期大会

姫路ユニオン(細川雅
弘委員長)は8月4日、
第28回定期大会を姫路労
働会館で開いた。

開会にあたり、細川委
員長は「この1年間、さ
まざまな取り組みを行っ
てきた。長年の課題であ
ったインターネットHP
の更新も実現し、相談件
数も若干増えて新しい組
合員の加入も得た。組織
拡大や財政確立のための
方向性を見出す出発点と
して今大会を位置つけた
い」とあいさつ。

その後、来賓として出
席したひょうごユニオン
の岡崎進委員長をはじめ
県内の各地域ユニオンの
代表から祝辞を受けた。
執行部からの議案提案
では、①労働相談件数を
増やすために街頭宣伝行
動を強化すること②ホー
ムページを活用すること
③労働相談を受け付ける
スキルの向上や団体交渉
への参加を通じた経験の
蓄積を図ることなどが方
針として提案された。こ
のほか予算案や役員選出
案を含むすべての議案が
確認された。(M・H)

最近、労働相談の内容
や質が大きく変化してい
る。1つは、労働相談の
約30%以上をパワハラや
メンタル関係の相談が占
めるようになったこと
である。ユニオン
が結成された198
0年代後半では考え
られなかった。当初
は、パートの年収や
社会保険加入基準な
どが中心。その後、
解雇や労災、未払い
賃金などがずっと労
働相談の中心にあっ
た。しかし、近年、
とりわけこの10年ぐ
らいでパワハラ・メ
ンタル事業が急速に
増えてきた。職場の人間
関係がうまく作れないこ
とも原因のようだが、「助
け合う」とか「許す」とか
「余裕」がなくなってきた
「余裕」がなくなってきた
「余裕」がなくなってきた

労働相談内容の変化

また、大阪・阿倍
野区にあるニチダン
という給食会社でも
将来を見越して従業
員が大手企業と新規
事業の契約を開拓し
たのに社長が無視を
して大口の業務を逃して
しまった。その結果、開
拓してきた従業員の排除
にかかった。ユニオンか
らの団体交渉を拒否し、
経営者が交渉に出て労働
者と向き合うこともなく、
弁護士に丸投げなのだ。
当事者同士の対話なく
して物事は進まない。異
議論ができる社会、民主
主義の立て直しが、労働
運動に求められている。
塚原久雄(武庫川ユニ
オン書記長)

「慰安婦メモリアルデー」イベント 神戸で映画と講演の集い

日本軍「慰安婦」にさ
れた金学順(キム・ハク
スン)さんが被害を告白
した日をもとに8月14日
を「慰安婦」メモリア
ルデー」とし、記憶をと
どめる行事が全世界で取
り組まれている。

神戸では8月4日、「大
娘(ダーニャン)たちの
戦争は終わらない」の上
映と、日中戦争の旅を続
ける宮内陽子さんの
講演が神戸市立婦人会館
であった。主催は「慰
安婦」問題を考える会・
神戸」で、神戸・南京を
むすぶ会」が共催した。

これまでは韓国の被
害者が主だったが、今年
は中国へ目を向けた。日
本軍の慰安所はほとんど
の戦地に作られており、
映画は、日中戦争で激戦
地となった山西省の村々
で日本軍の性暴力に苦し
められた万愛花さんたち
が日本政府に対して起こ
した裁判の記録でもあり、
「不幸のすべてを子ども
に伝えて」と言い残した
遺族の涙の証言記録でも
あった。

ゲストの「神戸・南京
をむすぶ会」代表の宮内
さんは1999年から23
回も訪中しており、万愛
花さんが「慰安婦ではな
い」と叫んで倒れたシー
ンを紹介し、どれほどの
屈辱だったかを伝えた。
ヤオトンという穴倉での
出来事など痛ましい事実
を知る日本人がどれほど
いるか。著書「日中戦争
への旅 加害の歴史・被



日中戦争の旅を続ける宮内陽子さん(神戸・南京をむすぶ会代表)が講演=8月4日、神戸市中央区

鮮と中国の「少女像」が
並んでいる写真が掲載さ
れている。

会場には沖縄での米兵
による性暴力事件の報道
による性暴力事件の報道

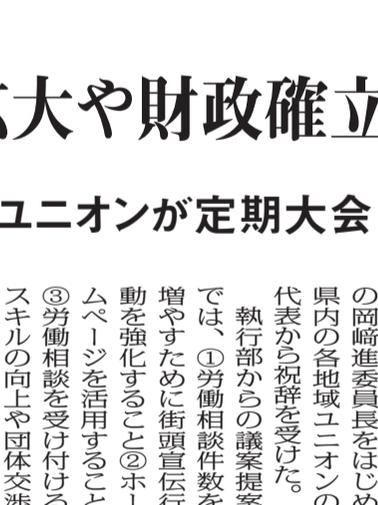
保険証の廃止反対を訴え 憲法を生かす北区の会が街宣行動

憲法を生かす北区の会
は、憲法9条と25条に因
りて毎月9日と25日の前
後に街頭宣伝行動に取り
組んでいるが、7月20日、
神戸電鉄・鈴蘭台駅前
でスタンディング行動を行
った。すでに炎天下の午
前10時半から約1時間、
政府が12月2日から強行
しようとしている保険証
の廃止反対を道行く人に
マイクで訴えた。

法ではマイナンバーカ
ードの取得は任意である。
だが、マイナンバーカー
ドに健康保険証の機能を
持たせてマイナ保険証を
つくらせ、現行の健康保
険証を廃止してマイナ保
険証に一本化するの支
援金の上限額を病院は40
万円、診療所や薬局は20
万円に倍増させた。また、
薬剤師や事務職員約1万
人をデジタル推進委員に
任命し、マイナ保険証の
利用登録を窓口で勧めさ
せている。

強権ありきの保険証廃
止に対して、同会は9月
7日にもスタンディング
を予定している。

その後、来賓として出
席したひょうごユニオン
の岡崎進委員長をはじめ
県内の各地域ユニオンの
代表から祝辞を受けた。
執行部からの議案提案
では、①労働相談件数を
増やすために街頭宣伝行
動を強化すること②ホー
ムページを活用すること
③労働相談を受け付ける
スキルの向上や団体交渉
への参加を通じた経験の
蓄積を図ることなどが方
針として提案された。こ
のほか予算案や役員選出
案を含むすべての議案が
確認された。(M・H)



神戸電鉄・鈴蘭台駅前
でマイクを通して健康保
険証廃止反対を訴え=7月
20日、神戸市北区

記事も沢山展示され、現
代も続く問題であること
を訴えた。
(加納花枝)

最近、労働相談の内容
や質が大きく変化してい
る。1つは、労働相談の
約30%以上をパワハラや
メンタル関係の相談が占
めるようになったこと
である。ユニオン
が結成された198
0年代後半では考え
られなかった。当初
は、パートの年収や
社会保険加入基準な
どが中心。その後、
解雇や労災、未払い
賃金などがずっと労
働相談の中心にあっ
た。しかし、近年、
とりわけこの10年ぐ
らいでパワハラ・メ
ンタル事業が急速に
増えてきた。職場の人間
関係がうまく作れないこ
とも原因のようだが、「助
け合う」とか「許す」とか
「余裕」がなくなってきた
「余裕」がなくなってきた

地域ユニオン あちこちあれこれ

を危惧し、新たな取引先
の拡大や新規事業の開拓
などに取り組んでいるの
に、経営者がまったく耳
を傾けないのである。
その典型が、廣岡揮八
郎の「三田屋事件」だ。
これまで三田屋を育てて
きたのは、従業員たちで
あった。昔の番頭ともい
える優秀な従業員3人を
中心に、この会社は回っ
ていた。ところが、社長
の長男のパワハラ問題が
発端で、従業員が大量に
退職。5月の一時金
支給は、創業以来初
の赤字となったこと
を理由に20%カット
を強行。ところが、
役員報酬は「年俸制」
を理由に現状維持で
ある。

若者のひろば

今年5月末、仲間数人で福島第一原発事故の被災地を訪ねる旅をしました。

党の先輩で、原発事故被害者「相双の会」会長の國分富夫さんのご案内で、現在も大半が帰宅困難区域であるが、一部避難指示解除も進む、浜通り中部を回りました。

津波被害も甚大であった請戸漁港は、北寄貝や伊勢海老、鮭などの水揚げが盛んでしたが、風評被害で漁業者が激減していました。

双葉町は、古くから親しまれてきた海水浴場や山があり、小学校もある小さな町でしたが、今はその面影もなく、高い堤防に囲まれた何も無い土地が広がっていました。

内陸に向かうと、伸びた草陰に覆い隠された空き家が点在する農家の集落がありました。大熊町に向かう山道に入ると、車に乗せていた放射能測定器がけたたましい音で鳴り続けました。「住居周辺は表層土を削り取って除染はできて、山は除染することはできない。実際、日々調査をしているが、山菜やキノコ、川魚からは高い放射線が検出されている。雨が降れば、放射能が山から町に流れる。除染は移染でしかない」と説明していた

だきました。帰宅困難区域が解除された浪江町の市街地では、会社や家などの建物はあっても人の気配がなく、却って不気味な感じがしました。解除になって戻ってくるのは高齢者ばかりで若い人が戻ってこないのは、食べていけないことややはり大きいといえます。

何が進んでいない現状でした。何よりも、國分さん自身のお話を聞いてより身近に感じました。國分さんは、自らも原発事故で被災し、住んでいた南相馬市小高地区を追われました(現在は相馬市に在住)。事故翌年からは、東電や国の責任追及をする集団訴訟の副団長を担ってききました。

また、「相双の会」は、全国各地に散らばった避難者も含め、被災者ひとりひとりとつながり、日常を取り戻す活動を粘り強く続けています。事故前には、夫婦と娘家族で暮らしながら、畑をし、日常的に山菜を取りに行ったり、ご近所の人々が来てお茶を飲んで語り合ったり、地域の行事も楽しみで、ささやかながらも地域の自然や文化に根差した幸せな生活がありました。そんな故郷や心の拠り所をすべて奪う原発はあってはならない、全国の市民と連帯して原発を止めたいという強い気持ちで12年が経った今も、奔走されています。

ら移住補助が出て、最初は復興を胸に戻ってきた会社や若い人達もいたのですが、あまりにも地域に人がおらず、皆しょげて出て行ってしまおうと國分さんは言います。最近では原発被災地の報道もほとんどなく、とすれば復興が少しずつでも進んでいるような印象を持ちそうになりますが、実際は12年たっても本当に

原発事故被災地を訪ねて



福島第一発電所 (岡崎彩子)

「承認をひろく」新・人権宣言 陣峻淑子著／岩波書店／2530円(税込)

シネマランド

AIで復活した偉人たちで最強内閣

原作は眞邊明人氏。エンタテインメント事業と教育事業を展開する株式会社代表で、著書に『ビジネス小説 もしも彼女が関ヶ原を戦ったら』などがある。眞邊氏は戦国時代の合戦から学ぶビジネス書を執筆する際、「編集者から徳川家康を中心とした小説仕立てにしてほしいと言われた」と本



作のパンフレットで述べていて、『もしも徳川家康が総理大臣になったら』は17万部を超える売り上げとなっている。本作の監督は、フジテレビで多くのドラマを手がけ、映画では『のだめカンタービレ』シリーズ(2009、2010年、『翔んで埼玉』シリーズ(2019、2020年)などがあり、『翔んで埼玉』(2019年)で第43回日本アカデミー賞最優秀監督賞を受賞した武内英樹氏だ。

世界で新型コロナウイルス感染症が大流行となり、世界中がパンデミックとなり大混乱に陥った。日

本においても同様であったが、追い打ちをかけるように、ときの総理大臣・原太郎がコロナに感

染して亡くなってしまふ。名実ともに日本のリーダーを失った政治を立て直すために登場したのが、日本が世界に誇る世界一とされるスーパーコンピュータ「IZUMO」と、ノーベル賞を受賞した故・水口毅教授が生み出した最新のAI技術を駆使し、企業が開発した3D技術の総力を結集させ甦らせた偉人内閣であった。そして、あらゆる動乱の時代のただ中から甦った歴史上の偉人たちは、その持ちうるリーダーシップをもってどんな政策を打ち出し、この国

の危機に立ち向かっているのか。

ここでその偉人内閣を紹介しておく。まず、内閣総理大臣・徳川家康(1542年〜1616年。野村萬斎)。戦国時代から江戸時代初期の武将であり、征夷大将軍である。次に、財務大臣・豊臣秀吉(1537年〜1598年。竹中直人)。戦国時代から安土桃山時代の武将で関白。さらには、経済産業大臣・織田信長(1534年〜1582年。GACKT)。戦国時代の武将で大名。偉人内閣の要を内閣官房長官・坂本龍馬(1835年〜1867年。赤楚衛二)が務める。幕末の志士、土佐藩の郷士だ。これらの人々をはじめ6人の偉人たち(女性閣僚

2人含む)によって、政(まつりごと)は進められていくのだが、それはスクリーンで確かめてほしい。

本作でのヒロインを紹介する。テレビ局政治部記者・西村理沙(浜辺美波)である。NHK朝ドラ「らんまん」でプレイクした浜辺が、偉人と絡み右往左往しながら物語をリードしていく役どころとなっている。

本作、出だしは笑いがあり、テンポも良く俳優陣も偉人たちになりきり見ていて楽しいが、後半の長いセリフが説教のようになっている、面白さが半減されているのが悔やまれる。(シネマ翁)

監督 川内英樹/2024年/日本/120分

本棚

もしも徳川家康が総理大臣になったら

職場では日常の些細なことから、生活の糧に直接影響する賃金まで、実に女性にとって働きにくい、差別の仕組みがぶつかった。労働組合自体が男性社会で、「女性は結婚したら退職していくもの」「家事・育児を担い、夫た

謳う人権・平等であり、働く人のたたかいを保障していた。その憲法が、何故、なかなか実際に根付かないのだろうか。「理想」に過ぎないのか、他国はどうなっているのか。そんな「はて？」に思えてくれたのが、30余年前出版の陣峻淑子著『豊かさとは何か』だった。何度も読み返し、勉強会のテキストにもした。バブル絶頂期を迎え、カネによる豊かさの陰で、労働者たちの貧困、格差、社会保障の削減、一人

く社会が、民主主義を破壊し、人間性を奪っている問題意識を投げかけた。そして今、対話が失われる世界の、ウクライナやガザの現実を前にして、「戦争の反対語は平和ではなく対話」だと、今年96歳を迎えた著者が、「魂からの問題意識」をもとに問うたのが、本書である。

人間は、社会の中で他者から承認されることで自己肯定感を持ち、アイデンティティを確立することが出来るが、これは単に個別の

朝ドラ「虎に翼」が話題になっている。中盤に差し掛かった頃のドラマは、日本国憲法の制定や民法の改正などを背景に展開されていた。私自身の生きていく基準のようなものがあるとしたら、それは「日本国憲法」だ。「自分を大事にして自分らしく生きていくためには、何が起きても自分の力で食べていけることが大事で、男も女も関係ない。働け」――。そう父から繰り返し言われて社会人になった。

ちの労働を支えるもの」という考え方の中で、女性たちの改善を求める運動は、先ず要求の正当性を職場や労働組合に認めさせることから始まった。その運動を、「女性たちは無理難題を要求しているのではない、当然の権利なのだ」と後押ししてくれたからこそ、憲法が

の人間の基本的な権利保障より自己責任を強調する社会にひた走る日本社会を、著者が留学してきたドイツと比較して問うたものだ。民主主義とは何か、人が人として生きるために必要な「たたかひ」の実際に触れ、日本が決して「普通」なのではないと衝撃を受けた。前置きが長くなったが、『豊かさとは何か』の後、著者は『対話する社会へ』(2017年出版)で、効率が重視され対話が消えてい

人間関係だけを指すものではない。貧困や差別によって社会に参加できない、あるいは排除される現実も、競争社会での自己責任だと諦める「自己の中に原因も結果も閉じ込められている閉じた社会」といえる。社会参加できない人を多く作り出した結果は、民主主義の土台を壊し、社会を良くしていくこととする連帯感を阻害していると著者は指摘する。

翻って「日本国憲法」は、国に人権条項の具体化の責務を負わせているが、それを実現させる力は、第12条で、この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない、と